

新学習指導要領における数学科「資料の活用」および「データの分析」で育む 統計的課題解決力授業について

統計数理研究所では平成 21 年度 JST 理数系教員指導力向上研修事業として標記の研修会を 2009 年 12 月 27 日、28 日の 2 日間行いました。この事業は、東京都教員研修センター、千葉県教育委員会、静岡県教育委員会、愛媛県教育委員会、北海道教員会、大分県教育委員会との連携により執り行い、90 名を超える受講者を集めることができました。また、統計関連学会連合統計教育推進委員会、日本統計学会統計教育委員会、数学教育学会、全国統計教育研究協議会、日本品質管理学会の後援を受け、竹村彰通氏(東京大学)、折笠秀樹氏(富山大学)、今泉 忠氏(多摩大学)、山口和範氏(立教大学)、渡辺美智子氏(東洋大学)、和泉志津恵氏(大分大学)、中本信子氏(筑波大学附属中学校)、鈴木和幸氏(電気通信大学)、瀧沢幸男氏(日野自動車(株))、櫻井尚子氏(東京情報大学)、深澤弘美氏(東京医療保健大学)、高田聖治氏(総務省統計局)、永松誠司氏(科学技術振興機構)

の外部講師及び研究所の椿広計教授、田村により PC による実習やモデル授業を含んだ研修を執り行いました。研修プログラム及び、配布資料は統計教育推進委員会のホームページに掲載されています。URLは、<http://www.jfssa.jp/statedu/data/index.html> となっています。多くの方のアクセスをお待ちしております。来年度以降の開催については未定ですが、可能ならば開催し、統計教育の質の向上に少しでも寄与できればと考えています。(田村 義保)

